

孺恋村地域おこし協力隊員募集要項

地域の「生きる」に、伴走する。



【キャベツ出荷量日本一のむら】

群馬県孺恋村は、群馬県の最西端に位置し、西・南・北の三方を長野県と接しています。

買い物など、長野県上田市・軽井沢町を生活圏とする人も多いです。

夏は涼しく平均温度は20.5度(8月)です。その分、冬は冷え込み平均温度は-5.3度(1月)で雪かきは月2～3回必要です。

都内までのアクセスは、軽井沢駅まで車で1時間、軽井沢駅から北陸新幹線で東京駅まで1時間で、合計2時間の距離です。

〈孺恋村を象徴するモノ・コト・キーワード〉

- ・浅間山
- ・愛妻家の聖地（愛妻の丘）
- ・万座温泉
- ・鹿沢温泉
- ・キャベツ
- ・ウインタースポーツ
- ・キャンプ・アウトドア

【地域おこし協力隊を募集する理由って!?】

今回の募集では、社会福祉法人 孺恋村社会福祉協議会の一員として活動します。

〈孺恋村社会福祉協議会〉：<https://tsumagoi-shakyo.or.jp/>

受入団体（孺恋村社会福祉協議会）の想い

孺恋村社会福祉協議会は、平成3年1月に社会福祉法人として法人化し、高齢者から子供に関することまで、介護保険事業を含む「地域福祉サービス」をワンストップで担っています。

現在は全48名（パート職員含む）の職員でサービスを行っています。

地域おこし協力隊の方を採用して叶えたいことは、ズバリ「新しい風が吹くこと」

これまで長年地域に根付いて事業を行ってきた今、我々が思うのは、これまでと同じ流れのまま地域内の人材で事業を回し続けることが果たして正解なのかということ。

ニーズが多様化している昨今の状況で、このことを日々疑問に思っています。

そこで、地域おこし協力隊という「外部人材」の力をお借りして、組織に新しい風が吹くことを目標としています。

未経験者大歓迎。

あなたの人柄やアイデアを活かす余白がここにはあります。

我々と一緒に地域の現場で活動したい方を募集します。

受入自治体（孺恋村）の想い

これまで、孺恋村では行政、社会福祉協議会、福祉関連事業者、ボランティア団体などが一体となって地域の福祉に全力で取り組んで参りました。

しかし、全国規模の少子高齢化や慢性的な人手不足の対応に追われる中、孺恋村特有の課題である介護事業者の不足や、別荘地を有する地域性に起因する独居高齢者への対応など、現在の孺恋村を中心とする関係者の努力だけでは、様々な課題への対応が追いつかなくなってきたのが現状です。これまで地域の福祉を担ってきた関係者の皆様のご尽力のおかげで、今の孺恋村の福祉が成り立ってきました。しかし、これからは、地域おこし協力隊の持つ「地域外の視点」や「新たな時代に対応する考え方」を取り入れないと、急速に変化していく時代に対応しつつ身近な地域福祉サービスの提供に取り組んでいくことができないと考えています。

本募集の受入先である「社会福祉法人 孺恋村社会福祉協議会」は、地域福祉の中心を担うほか、行政からの委託事業として、高齢者の生きがいや就労の場を担うシルバー人材センター事業や、地域全体で高齢者の生活を支える生活支援体制整備事業（協議体）などの重要な役割も担っていただいております。行政や事業者、ボランティア団体等と協力・連携し、時には熱い議論を交わしつつ、村一丸となって地域の福祉に取り組まれています。

孺恋村に来ていただく地域おこし協力隊の方には、上記の孺恋村社会福祉協議会の取り組みにおいて、プラスαとなるあなた自身のスキルを活かしていただき、地域福祉体制の充実・強化に向けて一緒に取り組んでいくことを目指していきたいと思っております。福祉サービスを受ける高齢者はもちろん、福祉に携わる協力隊をはじめとする職員の方々も、孺恋村の雄大な自然に抱かれながら、精神的に豊かで充実した生活を送れるよう一緒に頑張りましょう。

【受入先から皆さんへ伝えたいメッセージ】

応募を検討中の皆様、ご覧いただきありがとうございます。

社会福祉法人婦恋村社会福祉協議会は、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で末永く暮らし続けられるように、ホームヘルプサービスやデイサービス、配食サービスなど、行政と連携しながら、多様なニーズに対応できるよう、多岐にわたった福祉サービスを提供しています。近年は児童福祉や福祉教育にも力を入れ、未来の担い手づくりも行っており、いわゆる共生社会に向け、創意工夫を凝らした事業を実施しております。

しかし、御多分に漏れずマンパワー不足、特に外部目線を持つ人材が不足しています。子供から高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりの為に、私たちと共に盛り上げていただきたく、隊員を募ることにいたしました。



このあたりは田舎なので不便さは否めませんが、渋滞がなくドアツードアで車の移動ができるので、荷物を運ぶときなどは都会より便利に感じます。

また、並んで何かを待つことも、ほとんどありません。隣町にはショッピングモールが、何ヶ所もあります。そして、通信環境も整っているので、オンライン会議や趣味講座の受講、ネット通販の利用などにより、十分文化的に暮らしていけます。

とにかく、色々心配な面があるかと思いますが、我々スタッフ一同も相談にのりますし、住民の方々も優しいです。ぜひとも、当会の運営に力をお貸しください。ご応募お待ちしております。

婦恋村社会福祉協議会
事務局長兼施設長
黒岩 達哉

私が社会福祉協議会に入職したきっかけは、Uターンで戻ってくるときに、地域おこし協力隊の募集を見て、福祉分野の募集を見つけ応募したのがきっかけでした。

今まで福祉関係の仕事に携わったことが無かったので初めは不安ばかりでしたが、現在は、子供から高齢者まで様々な人たちと関わりながら、子ども食堂などの新しい地域福祉事業も始めています。

一緒に楽しく婦恋村を盛り上げてみませんか？お待ちしております！



地域おこし協力隊OG
地域福祉チーフ 生活支援コーディネーター
大井 志依

【今回の募集の押しポイント】

- ①生活支援体制整備事業（協議体）の業務に携われる！
- ②地域おこし協力隊の活動費を使って、働きながら資格取得が可能！ ※支給条件あり

今回の募集では、単に社会福祉協議会の職員として働くだけでなく、あなたのアイデアを活かした新規イベント企画や運営方法の提案など、幅広く関わりを持って組織に新しい風を与えてくれる方を募集しています。

ここには、あなたならではの視点を活かす舞台があります！

【どんな仕事をするの!?】

メイン業務として、以下の2つのコーディネーター業務の担い手を目指していきます。

- ①「シルバー人材コーディネーター」
- ②「生活体制支援整備事業（協議体）コーディネーター」

●シルバー人材センターとは…

就業を通して、高齢者が生きがいを感じたり地域活動に参加できるキッカケを提供しています。今後、超高齢化社会の中での就業ニーズの受け皿として、全国的にシルバー人材センターへの期待は増え続けています！

●生活体制支援整備事業（協議体）とは…

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるための環境やコミュニティを整える事業です。医療や介護サービスだけでは行き届かない生活の困りごとを住民同士で解決することを目指します。痒い所に手が届く、そんな支え合いの仕組みづくりを目指します。

そのための具体的な活動内容として以下のものを想定しています。

（以下はあくまで一例です。隊員の適正や組織体制によって適切に変更することもあります。）

-
- ・シルバー人材センターの担当の補助（受注状況の確認や会計事務など）
 - ・生活支援体制整備事業（協議体）担当の補助業務。（資料づくりなど）
 - ・地域福祉係業務に同行
例）配食サービス、老人クラブなど各種団体事務、アトリエもく（知的障がい者のアート活動）、子供食堂、会計事務など
 - ・季節ごとに行う高齢者や障がい者向けのイベントの運営
例）クリスマス会、講演会、バーベキュー、ゲートボール大会など
-

初めは先輩職員同行によるOJT研修からスタートし、独り立ちを目指していきましょう！
その他、既存の業務だけでなくあなたの目線やアイデアを活かした新規事業の提案も可能です！

【活動場所】

嬭恋村社会福祉協議会事務所（群馬県吾妻郡嬭恋村大字大前1110-1）、その他村内の各現場

【シルバー人材の“コーディネーター”ってなにをするの？】

例えば、

- ・地域を見回して、高齢者が活躍できそうな新しい現場を見つけてみる
- ・会員さんの得意不得意を見極めて「この仕事はこの会員さんに向いてるかも！」という提案
- ・意外な現場もあるかも!? シルバー人材のお仕事現場を取材＆PR
- ・「そもそもなぜシルバー人材で働いてるの？」という意識調査を経て、「シルバー人材で働くこと＝生きがい」とみんなが言えるような仕組みづくり
- ・みんなでアイデアを出し合って商品開発！お菓子や特産品、暮らしの便利グッズなど、なんでもアリ！地域ならではのバズる商品開発を目指す

※上記の例のような活動を通して、あなたの思う「地域にマッチしたシルバー人材センター」をコーディネートしてください！



【どんな人が向いてるの？】

<MUST>

- ・明るく人と接するのが好きな人
- ・高齢者や障がい者と分け隔てなく接することができる人
- ・地域に馴染むことに積極的な方
- ・運転免許も持っている方（AT限定可）
- ・休日不定期勤務が可能な方

※各種資格は働きながら取得可能です。着任時点で資格の有無は不問です。

<WANT>

- ・人懐っこいと言われる方
- ・おばあちゃん子、おじいちゃん子
- ・アイデア出しが好きな方

【3年間のイメージ】

以下は3年間の大まかなロードマップです。以下に限らず、あなたの想いや考え、孺恋村社会福祉協議会の体制など状況によって都度相談しつつ進んでいけたらと思います。

▶ 1年目

- ・孺恋村社会福祉協議会の業務全般について、先輩職員の補助や見学を行いながら理解を深める。
- ・地域の会合や研修等に積極的に参加して、地域に慣れる。

▶ 2年目

- ・適正や本人の意向を踏まえて、1年目の内容の中から業務を絞る。
- ・シルバー人材センターをメインとして従事しつつ、生活体制支援整備事業（協議体）にも参画していく。
- ・空き時間は、その他の業務のサポートやイベント企画などのアイデア出し。

▶ 3年目

- ・シルバー人材コーディネーター、生活体制支援整備事業（協議体）コーディネーターとして独り立ちを目指す。
- ・自身の定住を見据えた活動を行う。

【あなたへのサポート体制】

- ・受入先団体（孺恋村社会福祉協議会）で研修しつつ一緒に働きます。独り立ちできるまでしっかりとサポートします。
- ・自治体との定期的なミーティングを開催します。活動や生活の悩みを自治体職員へ相談できる機会をつくれます。
- ・広報誌の掲載や活動報告会の実施など住民に向けて地域おこし協力隊の活動を周知する機会を設けます。
- ・3年後の地域おこし協力隊卒業後の定住を見据えた募集です。3年後の定住に向けた活動もフォローします。
- ・適宜、NPO法人ぐんま地域おこし協力隊ネットワーク（中間支援団体）への相談を行えます。
- ・地域おこし協力隊卒業時の補助金制度あり。（支給条件あり）
 - └ 地域おこし協力隊員等の起業・事業承継に要する経費：100万円／1人
 - └ 任期終了後の隊員が定住するための空き家の改修に要する経費：補助率0.5（補助上限額100万円）

【地域おこし協力隊を卒業したらどうなるの？】

孺恋村に定住しつつ、以下のパターンを想定しています。

- ①孺恋村社会福祉協議会に就職し、次世代の担い手となる。
- ②3年間で培った人脈やノウハウを活かし、福祉関係のNPO法人等を村内で立ち上げる。
- ③3年間で培った人脈やノウハウを活かし、他の業種に就職もしくは、福祉とは関係ない事業を村内で立ち上げる。

※社会福祉協議会での3年間を、修行先・通過点として有意義に活用していただき、孺恋村に定住して活躍していただけると嬉しいです！

※卒業後の進路については、日頃から密に相談し、孺恋村・受入先もあなたも地域もお互いが良い方向へ歩んでいけたらと思っています。

【応募してみようかな！と思ったら】

地域おこし協力隊へ着任後に「こんなはずじゃなかった」というミスマッチを防ぐため下記の様に段階を踏んだ採用フローを準備しております。

<選考の流れ>

(1) 現地説明会（Web説明会含む）への参加 **※参加必須**

まずはお問い合わせいただき、現地説明会に参加して応募をご検討ください。現地説明会では役場担当職員や受入団体とお話する機会を設ける予定です。地域をご自身の目で直接見ていただき、後に「こんなはずじゃなかった」というミスマッチを防ぐために現地説明会への参加は必須とさせていただきます。疑問な点や不安な点などなんでもお気軽にご相談ください。納得いただいた上で選考へ進んでいただけたらと思います。

●Web事前説明 随時開催

●現地説明会 随時開催（Web事前説明後に実施）

(2) 第1次選考（書類）

書類選考の上、可否を文書で通知します。

(3) 第2次選考（面接）

第1次選考合格者を対象に第2次選考を孺恋村内にて行います。詳細は、第1次選考結果通知後にお知らせします。なお、第2次選考に要する交通費等は個人負担とします。

(4) 第3次選考（面接）

第2次選考合格者を対象に第3次選考を孺恋村役場にて行います。詳細は、第2次選考結果通知後にお知らせします。なお、第3次選考に要する交通費等は個人負担とします。

(5) 最終選考の結果通知

最終結果については、可否の判定を文書で通知します。選考内容についてはお答えできません。

1. 活動概要

- (1) 受入先のシルバー人材センターに関する業務（業務の掘り起こしや会員の能力開発、事務等）
- (2) 受入先の生活支援整備事業（協議体）やその他地域福祉に関する業務
- (3) 孺恋村地域おこし協力隊に関する会議・研修・報告会等への参加
- (4) 村内各種イベント（キャベツマラソン、つまごい祭り等）への参加

2. 募集対象

●下記の条件を満たす方

- (1) 年齢満18歳以上から50歳以下
- (2) 性別は問いません。
- (3) 3大都市圏をはじめとする都市地域等（条件不利地を含まない市町村）に在住の方で、孺恋村へ生活拠点を移し、委嘱後に住民票を異動できる方
- (4) 普通自動車免許を取得している方（採用までに取得見込も含む）
- (5) パソコン（ワード、エクセル、メール等）の知識を有し、活用できる方
- (6) 心身ともに健康で誠実に職務を行うことができる方
- (7) 将来孺恋村内に定住する意思のある方

3. 募集人員・活動開始日・就業場所

- 募集人員：1名
- 活動開始日：応相談
- 勤務地：社会福祉法人 孺恋村社会福祉協議会（群馬県吾妻郡孺恋村大字大前1110-1）

4. 就業時間等

- (1) 就業時間：午前8時30分～午後5時30分
- (2) 休憩時間：1時間（正午から午後1時まで）
※業務の都合その他やむを得ない事情により繰り上げ、または繰り下げることがあります。
- (3) 時間外労働：有り（代休処理または時間外手当支給）
- (4) 休日：週2日（土日祝）、年末年始（12/29～1/3）
※業務の都合により社協が必要と認める場合は、あらかじめ休日を他の日と振り替えることがあります。

5. 雇用形態及び期間

- (1) 地域おこし協力隊員として孺恋村長が委嘱します。
委嘱期間：1年間（年度毎に更新し、最長3年間）
- (2) 職員として(福)孺恋村社会福祉協議会が雇用します。孺恋村との雇用関係はありません。
雇用期間：1年間（年度ごとに更新し、最長3年間）
※3年後の雇用契約については、隊員と受入先の状況により別途協議させていただきます。
- (3) 協力隊員としてふさわしくないと判断した場合等は、委嘱期間中であっても委嘱を取り消すことができるものとします。

6. 賃金等

- (1) 基本給：月額181,800円（社会保険料等の本人負担分が控除されます。）
- (2) 昇給：あり
- (3) 賞与：あり4.5ヶ月/年

7. 待遇・福利厚生

- (1) (福)孺恋村社会福祉協議会の規定に基づき、健康保険・労災保険・雇用保険・厚生年金に加入します。
- (2) 副業は、(福)孺恋村社会福祉協議会の規定に基づき、就業時間外に可能です。
- (3) 住居は個人で契約いただき、任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱(※)」の規定に基づき上限月40,000円まで申請可能です。希望があれば、物件や不動産仲介業者をご紹介します住居選定の支援が可能です。(光熱水費及び引越費用は対象外です。)
- (4) 車両は、自家用車をご用意いただくか個人で借り上げてください。任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」の規定に基づき、車両借上料上限月40,000円、燃料費上限月20,000円まで申請可能です。
- (5) その他、任期中の地域おこし協力隊活動に必要な経費は、任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」の規定に基づき申請可能です。詳細はお問い合わせいただくか、孺恋村ホームページにてご確認ください。
- (6) 応募・転居等に伴う経費については応募者の負担となります。
- (※) 「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」は孺恋村HPよりご覧いただけます。

8. 申込受付期間

●随時受付

※採用状況により申込を締め切らせていただく場合がございます。

※お申し込みの前に必ず「Web事前説明会・現地説明会」へご参加ください。

申込フォームは右記QRコードまたは下記URLよりアクセスしてください。

(申込フォームURL) <https://forms.gle/5QfRGvG9fYPZ5Nf89>



申込フォーム

9. 提出書類

- (1) 孺恋村「地域おこし協力隊員」応募用紙
- (2) レポート (①当村協力隊に応募した理由、②村おこしにかかる意気込みや提案、③任期終了後の目標・ビジョンの3点について記載したもの。形式・文字数不問。)
- (3) 職務経歴書(様式任意)
- (4) 住民票

※書類はメール、郵送、またはご持参ください。返却はいたしませんのでお含み置きください。

メールでの提出の場合、Wordで必要事項を記載し、写真を画像データで添付の上PDF形式で提出してください。印刷した用紙をスキャンしての提出は不可です。

募集に関する質問は、電話・ファックス・メールまたは郵送でお願いします。

10. 応募先及び問合せ先

〒377-1692

群馬県吾妻郡孺恋村大字大前110

孺恋村役場未来創造課宛

電話：0279-96-1257 FAX：0279-96-0516

電子メール：miraisozo@vill.tsumagoi.gunma.jp

担当課：未来創造課

孺恋村公式ホームページ：<http://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/>